

とやまのたから  2021

南砺 NANTO × 富山 TOYAMA × 南砺 NANTO

「井波瑞泉寺木遣り唄」

「岩瀬まだら」

「越中五箇山民謡」



守
り
た
い
人
の
絆

伝
え
た
い
人
の
心

『まち』と共に生き
『まち』と共に受け継がれてきた唄や踊り
“心意気”と共に今、未来へつなぐ

『とやまのたから』は、富山県公立文化施設協議会と共同で開催する「ふるさと富山推進事業」で、富山県の貴重な文化遺産を県内外に広く紹介する公演です。今回は、南砺市の井波・五箇山地域と富山市で、古くから大切に受け継がれてきた日本遺産の構成文化財である「井波瑞泉寺木遣り唄」「岩瀬まだら」と、無形文化財の「越中五箇山民謡」です。

内容

披露「井波瑞泉寺木遣り唄」「岩瀬まだら」「越中五箇山民謡」

その他、映像での地域や祭の紹介
ロビーにて地域の紹介ブース

出演／井波木遣りの会・岩瀬まだら保存会・富山県立南砺平高等学校郷土芸能部 司会／下澤弥生

八日町通り

2021年 **9月25日[土]** 15:00開演 14:30開場
南砺市井波総合文化センター メモリアホール

全席自由 500円 [高校生以下無料] ●未就学児の入場はご遠慮願います。

■プレイガイド／南砺市井波総合文化センター、福野文化創造センターヘリオス、南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座アーツナビ（富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール）

主催／南砺市井波総合文化センター（指定管理者オカベ・ホクタテ共同体）

後援／富山県、富山県公立文化施設協議会、南砺市、北日本新聞社、となみ衛星通信テレビ株式会社

<https://www.inami-sbc.com/>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い

●「マスク着用」「咳エチケット」にご協力ください。●手洗い、手指の消毒をお願いいたします。●咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。●感染症拡大防止のため、公演中止・内容変更になる場合があります。●ソーシャルディスタンスを確保した座席レイアウトになります。

とやまのたから 2021

南砺

NANTO

富山

TOYAMA

南砺

NANTO

「井波瑞泉寺木遣り唄」

「岩瀬まだら」

「越中五箇山民謡」

3つの「まち」で唄い、踊り継がれてきた

南砺市井波の「木遣り」、五箇山地域の「民謡」、富山市岩瀬の「岩瀬まだら」。

これらは「まち」の、「とやま」の「たからもの」です。

それらを育み守ってきたのは、そこに暮らす人々の、子や孫に「まち」の継承と繁栄を託す心です。

今もその「たから」は地域に息づき、人々に大きな輝きを与えています。

富山の誇るべき「たから」を、これまで大切に受け継ぎ、次世代に繋いでいく「人々の想い」を感じてください。

相倉の四季 秋

岩瀬運河

井波瑞泉寺木遣り唄

3度焼失した瑞泉寺を再建する際に五箇山や利賀村から木を運ぶ時の唄が「井波御大門建立木遣り唄」として伝わり、井波町青年団の一行が「木遣り唄」として習い受け、男性は「采配」、女性は「扇子」による踊りを振付けし、唄と併せて引き継ぐようになりました。

毎年7月、瑞泉寺の伝統行事「太子伝会」の際、踊りが奉納され、八日町通りで木遣り踊りの町流しが行われます。

また平成30年、「木彫刻のまち・井波」の歴史的魅力を語るストーリー『宮大工の鑿(のみ)一丁から生まれた木彫刻美術館・井波』が、日本遺産に認定されこの木遣り踊りもその構成文化財として認定され現在に至っています。

勇壮活発な木遣り踊りを是非ご覧ください。

太子伝観光祭



岩瀬まだら

「まだら」は航海の守護神である「魔多羅神」をたたえた祝い唄。ルーツは佐賀県の馬渡島で、海上安全や大漁、健康、平和を祈願する漁師の舟唄でした。江戸から明治にかけて物流を担った北前船とともに、伝わったとされます。

1973年に、郷土に伝わる伝統芸能を後世に残そうと、「岩瀬まだら保存会」が発足。76年に、岩瀬の情景や大漁の祈りなどを織り交ぜた踊りを考案し、より親しみやすいものとなりました。

2017年5月に富山市無形民俗文化財に指定され、2018年5月には日本遺産の「北前船寄港地・船主集落」で、富山市の構成文化財の一つに認められました。今後も、保存・継承に取り組んでいきたいです。

「岩瀬まだら感謝舞台」
2018年5月26日開催



越中五箇山民謡

富山県立南砺平高等学校は、世界遺産・合掌造り集落のある越中五箇山にあり、昨年創立70周年を迎えました。全校生徒は80名に満たない学校ですが、スキー部や郷土芸能部をはじめ、多くの生徒が全国の舞台で活躍し、大きく輝いている学校です。

郷土芸能部は、地元五箇山地域に伝わる無形文化財の「越中五箇山民謡」を学び、伝承することを目的に、平成元年に創部されました。また、全国高等学校総合文化祭では、平成18年度と同26年度の最優秀賞・文部科学大臣賞受賞をはじめ、入賞回数は全国一です。今年8月の和歌山大会では「優良賞」を受賞し、7年ぶりの入賞となりました。

第32回富山県高等学校文化祭
2020年11月14日開催

